



ホストタウン応援コラム Vol.1 「トルコ共和国ってどんな国？」

皆さんメルハバ！(Merhaba)。メルハバは、日本語でこんにちはの意味です。
本庄市は、昨年12月にトルコ共和国を相手国とするホストタウンに登録されました。ホストタウンとして、市民の皆さんにトルコの魅力を伝えるための応援コラムを今月号より連載していきます！

～トルコ人が親日的なのはなぜ？～

コラム1回目の今回は、トルコ共和国と日本との関係について、歴史的に有名な話を紹介します。

エルトゥールル号事件

皆さん「トルコ人は親日的」と聞いたことはありませんか。日本とトルコの友好関係は、1890年のエルトゥールル号事件に始まります。1887年に小松宮彰仁親王同妃両殿下がオスマン帝国を公式訪問したことに対する答礼として、アブデュル・ハミト2世が特使としてオスマン提督を日本に派遣。日本からの帰路の途中、トルコ軍艦エルトゥールル号が台風の影響により和歌山県串本町沖で沈没しました。乗組員581名が亡くなりましたが、官民あげての手厚い救護により69名が救助され、日本の巡洋艦により無事帰国することができました。

日本人の救出

また、1985年、イラク・イラン戦争の中、テヘランで孤立した日本人を救出するためにトルコ政府がトルコ航空の特別機を派遣した出来事も、両国の友好関係の象徴的出来事となっています。

(参考：外務省ホームページ)



魅力たっぷりのトルコ共和国とは一体どんな国なのか、連載で紹介していきますので、お楽しみに。では皆さんギュレギュレ(日本語“さようなら”)、ギョルシュルズ(日本語“またね”)！

★オリンピック・パラリンピック支援室 ☎ 25-1615



エルトゥールル号

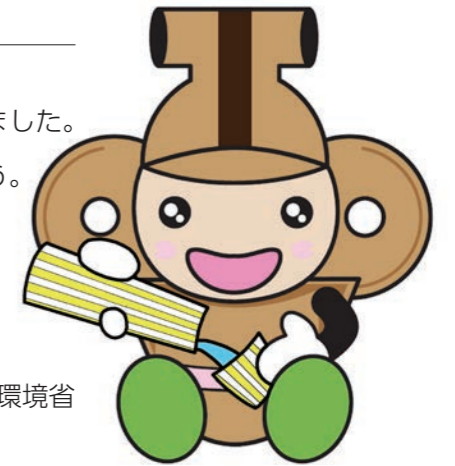


事故で負傷し治療を受けた乗組員
(写真提供：駐日トルコ共和国大使館)

マイボトル・マイカップでごみ減量

夏に向けてどんどん気温が高くなり、水分補給が欠かせない時期になりました。そんな水分補給のお供に「マイボトル(水筒)・マイカップ」を使いましょう。飲み物の購入費も抑えられて、ごみの減量、更にはCO2排出量の削減になります。自分好みのマイボトル・マイカップを通して、未来の地球環境について考えてみませんか。

※マイボトルは、家に持ち帰ったら、よく洗ってしっかり乾かしましょう。環境省ホームページなどでお手入れ方法を紹介しています。



自転車などの放置はやめましょう

路上などに放置された自転車等は、歩行者や緊急自動車などの通行の妨げになったり、交通事故のもとになります。また、災害時には避難や救助活動の障害にもなります。皆さんが暮らしやすく安全な街にするために、自転車等は必ず駐輪場に止めましょう。

駅周辺や路上などに自転車などを放置した場合は、撤去します。なお、撤去した自転車などの返還の際は、撤去にかかった費用が必要となります。

お問い合わせは、環境推進課又は支所環境産業課へ。

■平成31年3月分のごみの量(t)

可燃ごみ 2,393.76 不燃ごみ 141.10 有害ごみ 1.80 資源ごみ 21.10 合計 2,557.76

前年同月の全体量より12.5%増加しました(1人1日当たりのごみ排出量約126g増加)。生ごみの水切りや資源物の分別など身近なところから、ごみの減量化・資源化に更なるご協力をお願いします。

集団資源回収予定表 <回収品目は古紙類・缶類です>

回収場所	日程	時間	問合せ先
アスパアこだま	6月2日(日) 7月7日(日)	午前9時～11時	ハートtoハート(佐久間さんち) ☎22-9300
市役所	6月16日(日)	午前9時～11時 午後1時～3時	
本庄南公民館 ※布類回収も実施	6月8日(土)	午前9時～11時	佐久間さんち ☎22-9300
就労継続支援B型事業所 「佐久間さんち」(本庄高校北側)	6月21日(金)	随時受付	ポノポノ ☎23-2195

※天候等の理由で変更になる場合もありますので、各団体にご確認ください。